

寄付レポート

2024年11月22日

徳武産業株式会社 蓮井 真由美

・寄付元団体：徳武産業株式会社

昭和32年に綿手袋縫製工場として創業してから65年以上が経過しました。

私達は、お客様の要求に学び、継続的改善を通して技術と品質向上に挑戦すると共に規範を守り、感動と喜びを与える商品作りを目指しております。

今までもこれからも変わらずお客様の“声なき声”に耳を傾け1人でも多くの方の悩みを解決できるよう真剣に向き合うとともに、ものづくりを通して全社員の働く幸せの実現、お客様の笑顔、地域になくてはならない存在となれるよう、できる精一杯を積み重ねて参ります。

・プロジェクト概要

徳武産業株式会社より提供した約1,500足の靴を、カンボジア政府の社会省よりご紹介いただいた、プノンペン市内にある下記3施設へ寄付致しました。

特定非営利活動法人日本カンボジア交流協会 (Japan Cambodia Interactive Association)

孤児院 (National Center for Infants and Children)

リハビリセンター (AAA WCD)

・寄付の様子





この度の寄付に際して、ただ靴をお届けするだけではなく、時間の許す限りお一人おひとりに靴のフィッティングを実施させていただきました。弊社の強みは、左右異なるサイズの靴を提供できる点でございます。装具・義足を付けた足と素足のサイズをそれぞれお測りし、それぞれの足に合ったサイズの靴を提供させていただきました。当初はサンダルの方が多くいらっしゃったので「靴」が受け入れられるのか不安がありました。歩き方のぎこちなかった方が、弊社の靴を履いてからは松葉杖を使わずご自身の力で歩かれている姿を目の当たりにできて、「靴」の履き心地についての感動を伝えてくださる皆さまの笑顔に驚きと嬉しさでいっぱいになりました。また、サイズのぴったり合った靴を履かれた瞬間の、ぱっと明るくなった皆様の表情を見て、大きな達成感を感じました。

寄付後にはカンボジア政府の社会省の皆様を訪問し、プノンペン市内だけではなく遠方の

バタンバン州やコンポンスプー州にもまだまだ弊社の靴を必要とされる方々がいらっしゃるとお話を伺いました。カンボジア国内で弊社の靴を必要とされている皆様に広くご活用いただけるよう、今後も継続的な支援活動を行って参ります。

